

基本目的 I 安全と環境

「危機対応能力が高く 良好な生活環境で暮らせる 安全安心なまち」

◆ 0 1 防災

施策目的 防災意識や危機対応能力を高め、
自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる

◆ 0 2 防犯

施策目的 地域と市が連携して、防犯に取り組む安全安心なまちになる

◆ 0 3 自然環境

施策目的 人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる

◆ 0 4 ごみ・資源

施策目的 ごみを減らして資源を生かす循環型のまちになる

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	1	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	安全安心課 危機管理・国土強靱化係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
9・1・4	防災関係			332,183千円	337,582千円	37,955千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
施策の方向	▶ 1_防災意識の向上による防災組織の育成

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	・ 自助・共助・公助が一体となり、防災意識や危機管理対応力の高い災害に強いまちづくりを推進する。
----------------	--

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①防災関係事業【重要事業】
- ・ 防災士が地域の自主防災の活性化を支援し、安全・安心なまちづくりに寄与することを側面的に支援していく。
 - ・ 災害に備え、必要な備蓄品等を購入し、防災体制の充実を図る。
 - ・ 平成21年7月27日に発生した竜巻災害を本市防災の教訓として引継ぐため、また、その記憶を風化させないため、「館林市の防災を考える日」事業により、防災意識を高め、災害の未然防止と被害の軽減を図る。
 - ・ 全国瞬時警報システム等の稼働維持を図るとともに、情報伝達手段の多様化を図る。
 - ・ 本市が実施する防災対策の効果を最大限に高めることを目的に、防災対策全般に高度な専門知識と経験を有する専門家を、防災アドバイザーとして選任する。
 - ・ 大規模地震時における出火防止を目的に、感震ブレーカーの普及促進を図る。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①防災関係事業【重】	①防災関係事業【重】	①防災関係事業【重】	①防災関係事業【重】
	・ 防災士連絡会補助金	・ 防災士連絡会補助金	・ 防災士連絡会補助金	・ 防災士連絡会補助金
	・ 防災用倉庫及び備蓄用備品用等の購入	・ 防災用倉庫及び備蓄用備品用等の購入	・ 防災用倉庫及び備蓄用備品用等の購入	・ 防災用倉庫及び備蓄用備品用等の購入
	・ 「館林市の防災を考える日」事業	・ 「館林市の防災を考える日」事業	・ 「館林市の防災を考える日」事業	・ 「館林市の防災を考える日」事業
	・ 防災アドバイザー委託	・ 防災アドバイザー委託	・ 防災アドバイザー委託	・ 防災アドバイザー委託
事業費	37,955	37,955	37,955	
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	600	0	0
	一般財源	37,355	37,955	37,955

【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
自主防災組織の組織率		92	目標値	95	96	97	99	100
	単位：%		実績値	92				
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	37,955 千円	令和3年度決算額	32,616 千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>■防災士数（新規取得者） 内訳 令和元年度：7人 令和2年度：6人 令和3年度：7人</p> <p>■備蓄食料数 内訳 令和元年度：31,704食 令和2年度：104,706食 令和3年度：125,264食</p> <p>■「館林市の防災を考える日」事業 内訳 令和元年度：実施 令和2年度：未実施 令和3年度：未実施</p> <p>■防災アドバイザー委託 内訳 令和元年度：地区防災計画について 懇談会2回、訪問相談1回、電話相談11回、メール相談6回 令和2年度：要配慮者対策について 懇談会2回、訪問相談1回、電話相談9回、メール相談6回 令和3年度：要配慮者対策について 懇談会2回、訪問相談2回、電話相談10回</p> <p>■情報伝達手段の多様化を図る 令和元年度：たてばやし防災情報伝達システム設計（安全安心メール登録者数 7,086件） 令和2年度：たてばやし防災情報伝達システム工事・運用（安全安心メール登録者数 7,086件） 令和3年度：たてばやし防災情報伝達システム運用（防災情報伝達システム登録者数 9,967件） ※R3.3.15から防災情報伝達システム（@インフォカナル）に移行</p> <p>■感震ブレーカー等設置費補助 内訳 令和元年度：9件、262千円 令和2年度：32件、1,244千円 令和3年度：22件、805千円</p>		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	地域防災計画に基づき、初動体制の強化、情報伝達の強化、備蓄品の充実、要配慮者への避難支援、自主防災組織の強化、地区防災計画の策定など総合的な防災対策や減災対策を推進しなければならない。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災力を高めるためには、さらに自助・共助の体制を推進することが重要である。 ・被害を最小限に抑えるためには、関係機関等との連携が必要である。 ・地区防災計画を推進するにあたり、住民にその重要性を理解してもらい災害を我がこととして認識してもらうこと。 ・防災士について、地域の防災活動に積極的に参画してもらうことと、その活用。
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止） 災害発生時の対応に備え、市民の生命、身体及び財産を災害から守ることを目的に事業を進めていく。また、自主防災組織の設立支援等、自助、共助の活動の促進を図り、公助として個別避難計画の策定を推進し、市民に対する知育防災意識の高揚を図ることで、市民の安全と福祉の増進に努める。
令和5年度事業計画	① 防災士の育成 ② 備蓄の充実 ③ 出前講座の実施 ④ 防災情報伝達システムによる情報配信 ⑤ 自主防災組織資機材整備事業 ⑥ 地域防災計画の修正 ⑦ 個別避難計画の策定 ⑧ 地区防災計画の策定・支援
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	2	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	安全安心課 危機管理・国土強靱化係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
9・1・4	国土強靱化地域計画推進事業			351千円	208千円	1,308千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
施策の方向	▶ 8_国土強靱化計画を踏まえた備蓄の確保

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	大規模自然災害に備えるため、事前防災・減災と迅速な復旧に資する施策を、まちづくり政策や産業政策も含めた総合的な取り組みとして計画的に実施し、強靱な国づくり・地域づくりを推進する。
----------------	---

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①国土強靱化地域計画推進事業【重要事業】

- ・ 館林市強靱化計画の推進、進捗管理の実施
- ・ 国土強靱化に関する説明会等の開催
- ・ 大規模災害時協力員制度の運用

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業 スケジュール	①国土強靱化地域計画推進事業【重】	①国土強靱化地域計画推進事業【重】	①国土強靱化地域計画推進事業【重】	①国土強靱化地域計画推進事業【重】	
		・ 館林市強靱化計画推進体制の運用 ・ 館林市強靱化計画の推進に関するシンポジウム開催 ・ (仮称)大規模災害時協力員制度の創設	・ 館林市強靱化計画推進体制の運用 ・ 館林市強靱化計画の推進に関するシンポジウム開催 ・ (仮称)大規模災害時協力員制度の創設	・ 館林市強靱化計画推進体制の運用 ・ 館林市強靱化計画の推進に関するシンポジウム開催 ・ (仮称)大規模災害時協力員制度の創設	
	事業費	1,308	1,308	1,308	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
市債		0	0	0	
その他		0	0	0	
	一般財源	1,308	1,308	1,308	

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	1,308 千円	令和3年度決算額	325 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和1年 5月～9月 館林市国土強靱化地域計画策定委員会(計2回) ・ 令和1年 5月～8月 館林市国土強靱化地域計画策定事務局参事会議(計2回) ・ 令和1年 7月、11月 館林市防災会議への意見聴取 ・ 令和1年8月～9月 有識者からのアドバイス聴取 ・ 令和1年10月 パブリックコメント実施 ・ 令和2年3月 館林市強靱化計画公表、概要版每户配布 ・ 令和2年5月 館林ケーブルテレビ「@たてばやし」による広報 ・ 令和2年8月 館林市強靱化計画策定記念動画配信(計5本) ・ 令和3年3月 第7回ジャパン・レジリエンス・アワード 「国土強靱化地域計画」金賞受賞 ・ 令和3年6月 館林商工会議所青年部での講演 ・ 令和3年9月 強靱化アクションプラン策定 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	国土強靱化基本法第13条により、都道府県又は市町村は、国土強靱化に関する計画等の指針となるものとして、国土強靱化地域計画を定めることができることとなっている。 令和2年3月に館林市強靱化計画を公表し、強靱化に関する各種施策を推進する段階である。					
課題	強靱化計画の策定に伴い、計画推進のための施策を具体化したアクションプランをもとに、着実に実行していくことが必要である。 また、施策の推進及び進捗管理においては、PDCAサイクルにより、必要に応じて計画の見直しを図っていくが、そのためには市民や事業者などの意見を広く汲み取り、協働して進めていくことが必要である。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	令和3年度に策定したアクションプランをもとに、計画の推進の推進を図り、着実にPDCAサイクルを回していく。また、市民懇談会の開催し、市民や事業者等の意見を計画に反映しながら、引き続き強靱化に関する出前講座等の実施を通じて周知啓発に努めていく。					
令和5年度事業計画	① 館林市強靱化計画の推進、進捗管理の実施 ② 国土強靱化推進のための市民懇談会の開催 ③ 国土強靱化推進するための出前講座等の開催					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	3	重要事業	総合戦略	担当部署	道路河川課 維持係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
8・3・1	河川水路維持管理		20,018千円	19,875千円	21,757千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
施策の方向	▶ 2_危険箇所の早期発見による安全確保

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市内における移動手段および排水機能の確保のため、都市基盤となる河川及び水路等の施設を適正に維持管理し、市民生活における利便性の向上と安全性を確保する。
----------------	---

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

河川水路維持管理
排水機能を確保するための施設の維持管理（除草、清掃）
施設の老朽化や破損に伴う補修工事（排水構造物、防護柵等）

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	河川水路維持管理 維持管理業務（除草、清掃等） 補修工事（構造物、防護柵等）		河川水路維持管理 維持管理業務（除草、清掃等） 補修工事（構造物、防護柵等）	河川水路維持管理 維持管理業務（除草、清掃等） 補修工事（構造物、防護柵等）
	事業費	21,757	25,927	26,000
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	21,757	25,927	26,000

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 補修等要望件数	79	目標値	76	75	73	72	70
	単位：件	実績値	47				
活動指標 河川、水路の点検実施件数	0	目標値	21	32	42	53	64
	単位：件	実績値	9				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	21,757千円	令和3年度決算額	21,611千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	維持管理実施延長 令和元年度：準用河川3河川（茂林寺川、蛇沼川、宮田川）の堤防および河床の除草 幹線排水路3河川の除草および河床の清掃 令和2年度：準用河川3河川（茂林寺川、蛇沼川、宮田川）の堤防および河床の除草 幹線排水路2河川の除草および河床の清掃 令和3年度：準用河川3河川（茂林寺川、蛇沼川、宮田川）の堤防および河床の除草 幹線排水路4河川の除草および河床の清掃			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	維持管理に必要な業務の実施時期を適切に管理し、補修要望等の件数を減少させることができた。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全長L=62,635mにおよぶ河川、水路への堆積土砂の増加による排水機能の低下 ・ 多様なニーズに対応するため、維持管理費用の増加 					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	これまでの事後的な維持管理ではなく、定期的なパトロールを実施するとともに維持管理コストを軽減できる対策を検討し、長期的な維持管理コスト縮減に必要な工事を進める。					
令和5年度事業計画	河川水路維持管理 排水機能を確保するための施設の維持管理（除草、清掃） 施設の老朽化や破損に伴う補修工事（排水構造物、防護柵等） 維持管理業務（除草）の経費削減するための防草工事					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	4	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	道路河川課 整備係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
8・3・2	幹線排水路整備事業			52,863千円	44,518千円	73,655千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
施策の方向	▶ 4_排水施設整備による被害防止

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	雨水の急激な流出・冠水を抑制し、排水機能を強化するため、準用河川・幹線排水路などの排水施設について多角的かつ経済的に整備改修し災害を未然に防ぐ。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①準用河川宮田川整備事業 護岸・かごマット工 56.4m（第一工区護岸完了） 今年度にて第一工区流路部（市道2級26号線以東）が概成する。これらの効果もあり、地元複数住民等から冠水被害が軽減した旨の感想があった。このことから来年度出水期の状況を観察・検証したうえで、第二工区を推進する方針とする。</p> <p>②宮田2号幹線排水路整備事業 搬入路整備 45.7m 試作調整池 232.4m³ 完成済の設計結果に基づき、用地買収を進め工事用搬入路を築造中だが、大規模調整池を含む排水路完成までには多大な費用と時間を要する。このことから、上記のとおり小規模調整池試作や既存水路の浚渫を行うなど、比較的安価な方策から実施し効果を見極めたうえで、事業を推進する方針とする。</p> <p>③冠水箇所水路小規模改修事業 栄町幹線排水路流入口改修 1箇所 完成済の排水路であるが、現流入口が十分には機能しておらず、その結果排水路の能力を完全には発揮できていない。この解消を目指し局部的に改修するもの。また今後も、四つの準用河川・60の幹線排水路について職員が現地を踏査し、状況把握と往々にして複合的なことが多い冠水の原因を見極め、代表的原因について経済的かつ効果的な対策を考案し、これを優先して行い、事後効果を検証するものとする（所謂PDCAサイクル）。その結果被害が軽減或いは解消すればその時点で対策完了とし、不十分な場合は次位に経済的かつ効果的な対策をとる方針とする。</p>	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業 スケジュール	事業	①準用河川宮田川整備事業 護岸・かごマット工 56.4m （第一工区護岸完了） ②宮田2号幹線排水路整備事業 搬入路整備 45.7m 試作調整池 232.4m ³ ③冠水箇所水路小規模改修事業 栄町幹線排水路流入口改修 19.2m	①準用河川宮田川整備事業 第一工区管理用通路舗装 1,090m ②宮田2号幹線排水路整備事業 搬入路整備 67.5m 用地買収 171m ² 浚渫 250m ③冠水箇所水路小規模改修事業 新栄町地内排水路局部改修 1箇所 高根幹線排水路局部改修 1箇所 準用河川蛇沼川浚渫 200m 河川・排水路パトロール及び対マップ作成	①準用河川宮田川整備事業 第二工区路線測量 800m ②宮田2号幹線排水路整備事業 搬入路整備 74m 用地買収 1120m ² 浚渫 340m 試作調整池 950m ³ ③冠水箇所水路小規模改修事業 高根幹線排水路局部改修 1箇所 準用河川蛇沼川浚渫 70m	
	事業費	73,655	58,724	39,000	
	財源	国庫	18,333	10,000	0
		県費	0	0	0
		市債	33,000	27,133	7,600
その他		0	0	0	
	一般財源	22,322	21,591	31,400	

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	準用河川及び幹線排水路の整備率	目標値	78.5	78.5	78.6	78.7	78.8
		実績値	78.5				
活動指標	河川・排水路パトロール（3年に一回） 及び対策マップ作成・更新	目標値	-	1	-	-	1
		実績値	-				
		目標値					
		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	73,655 千円	令和3年度決算額	66,330 千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	工事 準用河川宮田川：令和元年度…50.2m、令和2年度…56.2m、令和3年度…56.4m（取付部分含む） 宮田2号幹線排水路（搬入路）：令和元年度…104.8m、令和2年度…62.0m、令和3年度…45.7m 用地費 令和元年度…1,840.94㎡、令和2年度…1,124.42㎡、令和3年度…1,579.46㎡		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A		
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中
評価根拠	準用河川宮田川は、これまでに河道改修や調整池の設置を行い、豪雨等による宮田川上流域の越水被害を削減している。		
課題	宮田川2号幹線排水路は、主要な道路に面していないため、工事車両を目的地まで到達できる搬入路を築造しています。排水路自体の改修や調整池の設置及び搬入路の確保から用地取得が必要であり、用地買収等に時間を要しています。		
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）		
	準用河川宮田川は、1級河川谷田川へ放流する宮田川排水機場から市道2級26号線までの河道改修区間を1工区として令和3年度に終了しました。令和4年度に河川管理用道路の舗装工事を行い国庫補助事業を完了させる予定です。宮田2号幹線排水路整備は、用地買収や調整池掘削工事を計画的に実施して参ります。		
令和5年度事業計画	宮田2号幹線排水路整備事業 用地買収 搬入路整備・調整池掘削工事		
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小
備考	※前年度比較		

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	5	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	建築課	住宅施設係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)		
8・6・1	空家対策関係			2,855千円	2,233千円	3,855千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
施策目的	▶ 02_地域と市が連携して、防犯に取り組む安全安心なまちになる
施策の方向	▶ 5_総合的な空き家対策の推進
施策の方向	▶ 3_空き家の適正管理

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	空き家所有者の自発的な空き家除却を促進し、地域の住環境改善を図る。
----------------	-----------------------------------

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

空家対策関係事業【重要事業】

・空き家除却助成金

良好で快適な生活環境の形成を図るために、防災・防犯上危険な空き家を所有する者が、その空き家を除却する場合に、市が除却費用の一部を助成する。

・空き家等の適正管理指導

空き家の周辺住民に影響を及ぼしている空き家所有者等に対し、適切な管理を促すため、情報の提供及び助言等を行うもの。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	空家対策関係事業【重】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家除却助成金 ・ 適正管理通知 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家除却助成金 ・ 適正管理通知 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家除却助成金 ・ 適正管理通知
	事業費			
財源	国庫	900	900	900
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	2,955	2,955	2,955

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	空き家除却助成金利用件数（累計）	4	目標値	13	26	39	52	65
		単位：件	実績値	17				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	6	重要事業	総合戦略	担当部署	建築課 建築指導係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
8・6・2	建築指導		7,661千円	6,321千円	4,538千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
施策の方向	▶ 7_災害予防のための環境整備

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	建築基準法に基づく確認審査や検査事務等を適正に行い、安全で安心なまちづくりを目指す。
----------------	--

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

建築確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築確認申請の審査及び検査を行う。 ・ 指定確認検査機関からの報告書等を受理し審査する。 ・ 設計者や指定確認検査機関等からの相談に応じる。 ・ 建築基準法に基づく定期報告の審査及び違反建築物の是正指導を行う。
------	--

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業スケジュール	建築確認		建築確認	建築確認
事業費		4,538	4,538	4,538
財源	国庫	0	0	0
	県費	47	47	47
	市債	0	0	0
	その他	4,491	4,491	4,491
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	中間検査率	82.1	目標値	100	100	100	100	100
		単位：%	実績値	81.0				
活動指標	完了検査率	97.6	目標値	100	100	100	100	100
		単位：%	実績値	83.1				
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	4,538 千円	令和3年度決算額	4,280 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・ 建築確認申請受付件数（建築物）			
	年度	市受付分	指定確認検査機関受付分	
	令和3年度	87件	378件	
	令和2年度	74件	275件	
	令和元年度	83件	398件	
	・ 中間検査実施件数（建築物、市受付分のみ）			
	年度	対象件数	実施件数	検査率
	令和3年度	21件	17件	81.0%
	令和2年度	20件	23件	115.0%
	令和元年度	28件	23件	82.1%
・ 完了検査実施件数（建築物、市受付分のみ）				
年度	対象件数	実施件数	検査率	
令和3年度	83件	69件	83.1%	
令和2年度	74件	76件	102.7%	
令和元年度	82件	80件	97.6%	
※中間検査及び完了検査の検査率は、年度をまたぐ工事があるため率が100%を超える年度がある。				

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	特定行政庁として建築基準法に基づく建築確認等の事務を行っている。					
課題	建築確認に係る業務については、指定確認検査機関が担う役割が大きくなっている。本市取扱い件数の減少に伴い審査等の経験を積む機会が減少する中、窓口相談や指定確認検査機関からの報告書の審査、多様化する建築法規等に適確に対応するための知識能力の維持向上が課題となっている。					
【Action】 今後の方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	・ 円滑かつ適確な窓口対応をするため、関係法令等の理解度向上に向けた研鑽を行う。 ・ 建築基準法に基づき業務を遂行しているため、法改正等への対応及び法の適切な運用を行う。					
令和5年度事業計画	建築確認 ・ 建築確認申請の審査及び検査を行う。 ・ 指定確認検査機関からの報告書等を受理し審査する。 ・ 設計者や指定確認検査機関等からの相談に応じる。 ・ 建築基準法に基づく定期報告の審査及び違反建築物の是正指導を行う。					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	7	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	建築課 建築指導係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
8・6・2	住宅・建築物耐震改修等事業			2,888千円	554千円	2,588千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
施策の方向	▶ 7_災害予防のための環境整備

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	地震による木造住宅及びブロック塀の倒壊等の被害から市民の命と財産を守る。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>住宅・建築物耐震改修等事業【重要事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅耐震診断者派遣事業 木造住宅耐震診断者による耐震性診断を実施し結果を通知する。 ・木造住宅耐震改修補助事業 耐震診断の結果、倒壊する可能性がある又は高いと診断された木造住宅について、耐震診断、耐震改修設計及び耐震改修工事を行い、「一応倒壊しない」までの基準に住宅を改修した方に補助金を交付する。 ・木造住宅耐震シェルター等設置補助事業 耐震診断の結果、倒壊する可能性がある又は高いと診断された木造住宅について、耐震シェルターや耐震ベッドなどの設置により圧死を防ぎ地震被害を軽減する施策を行った方に補助金を交付する。 ・ブロック塀等撤去費補助事業 道路等に面する危険なブロック塀等を撤去する方に補助金を交付する。 	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業スケジュール	住宅・建築物耐震改修等事業【重】		住宅・建築物耐震改修等事業【重】	住宅・建築物耐震改修等事業【重】
事業費		2,588	2,588	2,588
財源	国庫	1,293	1,293	1,293
	県費	225	225	225
	市債	0	0	0
	その他	397	397	397
	一般財源	673	673	673

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	木造住宅耐震診断戸数	7	目標値	25	25	25	25	25
		単位：戸	実績値	4				
活動指標	木造住宅耐震改修補助戸数	0	目標値	1	1	1	1	1
		単位：戸	実績値	0				
活動指標	木造住宅耐震シェルター等設置補助戸数	0	目標値	1	1	1	1	1
		単位：戸	実績値	0				
活動指標	ブロック塀等撤去費補助件数	2	目標値	10	10	10	10	10
		単位：件	実績値	2				

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	2,588 千円	令和3年度決算額	226 千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 木造住宅耐震診断者派遣事業 令和3年度： 4件 令和2年度： 16件 令和元年度： 7件 ・ 木造住宅耐震改修補助事業 令和3年度： 0件 令和2年度： 0件 令和元年度： 0件 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 木造住宅耐震シェルター等設置補助事業 令和3年度： 0件 令和2年度： 0件 令和元年度： 0件 ・ 館林市ブロック塀等撤去工事補助事業 令和3年度： 2件 令和2年度： 1件 令和元年度： 2件 	

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	大規模地震による被害を減少させるために必要な事業ではあるが、補助件数の実績が伸びない。
課題	耐震改修工事を実施するには多額の費用を要するため、耐震診断を実施しても耐震改修工事までには至らない。
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)
	令和3年度に策定した「館林市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム」に基づき、住宅所有者に対する耐震化普及啓発・補助制度についての案内等を行う。
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 木造住宅耐震診断者派遣事業 : 25件 ・ 木造住宅耐震改修補助事業 : 2件 ・ 木造住宅耐震シェルター等設置補助事業 : 1件 ・ 館林市ブロック塀等撤去工事補助事業 : 10件
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	8	重要事業	総合戦略	担当部署	下水道課 工務係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
下水道事業会計	管渠管理費 (公共)			19,533千円	12,001千円	17,370千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶01_防災意識や危機対応力を高め.自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
	▶03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	下水道管きよを市民が安全安心に利用できるよう、定期的な清掃業務や点検・補修といった維持管理に努める。
----------------	--

令和3年度事業計画 (主要な事業とその取組内容)

①汚水管きよ清掃

②下水道マンホール蓋等修繕

③雨水きよ除草

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①汚水管きよ清掃 ②下水道マンホール蓋等修繕 ③雨水きよ除草	①汚水管きよ清掃 ②下水道マンホール蓋等修繕 ③雨水きよ除草	①汚水管きよ清掃 ②下水道マンホール蓋等修繕 ③雨水きよ除草
	事業費	17,370	17,370	17,370
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	17,370	17,370	17,370
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	汚水管きよ清掃延長 単位：m	目標値	2,081	2,311	2,540	2,770	3,000
		実績値	2,523				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	17,370千円	令和3年度決算額	14,287千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	委託料	修繕費	工事請負費	
	令和元年度	2,892千円	一千円	6,727千円
	令和2年度	4,070千円	7,578千円	一千円
	令和3年度	5,016千円	9,143千円	一千円
	R3：汚水管清掃業務委託、汚水管路調査業務委託、雨水きよ除草業務委託、下水道マンホール蓋等修繕 等			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与 している事業であ る	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有 無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得ら れている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果 が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	管きよの維持管理は、汚水管きよ及び雨水きよの維持補修が必須であり、存続させる必要がある。					
課題	下水管きよにゴミや土砂がたまり、汚水や雨水の流れを妨げたり、毎日の使用で傷みが出たりするため、定期的な清掃・点検・補修が必要である。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	・定期的な点検を行い、清掃及び補修を行う。					
令和5年 度事業計 画	①汚水管きよ清掃 ②下水道マンホール蓋等修繕 ③雨水きよ除草					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	9	重要事業	総合戦略	担当部署	下水道課 工務係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
下水道事業会計	ポンプ場管理費 (公共)			10,865千円	5,787千円	15,793千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
	▶03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	尾曳汚水中継ポンプ場、高根汚水中継ポンプ場については、自然流下のため各ポンプ施設で高所に下水を汲み上げている。多々良沼雨水ポンプ場については、農繁期において多々良沼からの揚水、又大雨時に多々良沼への排水としての役割がある。
令和3年度事業計画 (主要な事業とその取組内容)	
①汚水中継ポンプ場 (尾曳・高根) の維持管理 高根・尾曳汚水中継ポンプ場機器修繕	
②多々良沼雨水ポンプ場の維持管理	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①汚水中継ポンプ場 (尾曳・高根) の維持管理 ②多々良沼雨水ポンプ場の維持管理	①汚水中継ポンプ場 (尾曳・高根) の維持管理 ②多々良沼雨水ポンプ場の維持管理	①汚水中継ポンプ場 (尾曳・高根) の維持管理 ②多々良沼雨水ポンプ場の維持管理
事業費		15,793	15,793	15,793
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	15,793	15,793	15,793
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	15,793千円	令和3年度決算額	7,548千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	委託料	修繕費	工事請負費	
	令和元年度	572千円	一千円	86千円
	令和2年度	1,166千円	3,410千円	一千円
	令和3年度	1,166千円	5,027千円	一千円
	R3：多々良沼雨水ポンプ場維持管理業務委託 尾曳汚水中継ポンプ場No1汚水ポンプ修繕 等 (尾曳・高根中継ポンプ場の管理は、水質管理センター包括業務委託に含まれている。)			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	下水を中継する施設、また雨水を揚水・排水する施設は、適切な汚水、雨水処理のために継続的に必要である。
課題	高根汚水中継ポンプ場は平成18年に供用開始されたため、比較的修理や補修は少ないが、尾曳汚水中継ポンプ場については昭和61年供用開始のため、施設の老朽化が課題である。
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)
	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な点検を行い、清掃及び補修を行う。 ・尾曳・高根中継ポンプ場の運転維持管理業務について、引き続き包括業務委託を実施していく。
令和5年度事業計画	①汚水中継ポンプ場（尾曳・高根）の維持管理 汚水処理施設運転維持管理包括業務委託（公共下水道処理施設） ②多々良沼雨水ポンプ場の維持管理
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	10	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	下水道課 工務係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
下水道事業会計	管渠整備費 (公共)			343,987千円	322,403千円	398,276千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶01_防災意識や危機対応力を高め.自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
	▶03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶4_排水施設整備による被害防止
	▶5_公共下水道及びし尿処理施設の計画的な更新

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	衛生的で快適な生活環境の向上及び河川や沼の水質保全に寄与するため、汚水きよの整備を計画的に進める。また、発生が懸念される集中豪雨による浸水被害を防止するべく、雨水きよの整備を計画的に進め、安全安心なまちをつくる。
令和3年度事業計画 (主要な事業とその取組内容)	
①汚水きよの整備・更新	
②雨水きよの整備	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業スケジュール	①汚水きよの整備・更新工事 ②雨水きよの整備	①汚水きよの整備・更新工事 ②雨水きよの整備	①汚水きよの整備・更新工事 ②雨水きよの整備	
事業費	398,276	398,276	398,276	
財源	国庫	162,100	162,100	162,100
	県費	1,600	1,600	1,600
	市債	198,700	198,700	198,700
	その他	35,876	35,876	35,876
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	公共下水道雨水きよの整備率	目標値	74.8	75	75.2	75.4	75.6
		実績値 単位：%	70.2				
総合計画 指標	下水道水洗化率	目標値	90.2	90.5	90.8	91.1	91.4
		実績値 単位：%	90.8				
		目標値					
		実績値 単位：%					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	398,276千円	令和3年度決算額	294,766千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	委託料	工事請負費		
	令和元年度	55,887千円	174,548千円	
	令和2年度	44,616千円	271,142千円	
	令和3年度	46,673千円	245,122千円	
	R3：汚水管きよ実施設計業務委託、汚水管築造工事、汚水幹線築造工事、雨水幹線築造工事 等			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与 している事業であ る	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有 無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得ら れている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果 が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	未整備地区の整備が必要なうえに、今後、管きよの耐用年数が50年を経過するものが急速に増加してくる。管きよの老朽化は、社会的影響も大きいため早急な対応が必要であり、管路ストックマネジメント計画に基づき調査、点検、改築事業を計画的に進める必要がある。					
課題	市民の日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生等を未然に防止するため、調査、点検を実施し、予防保全型の計画的、効率的な維持管理を進めていく。施設の健全度により多額の改築費が必要となってくる。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	・下水道管きよの整備及び下水道の維持・更新を効率的に推進していく。					
令和5年 度事業計 画	①汚水きよの整備・更新工事 ②雨水きよの整備					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	11	重要事業	○	総合戦略		担当部署	安全安心課 交通防犯係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
2・1・12	防犯関係事業			18,296千円	18,074千円	22,251千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 02_地域と市が連携して、防犯に取り組む安全安心なまちになる
施策の方向	▶ 2_防犯意識の向上による防犯環境形成

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	犯罪の発生を未然に防止し、市域の治安の向上を図るため、防犯啓発やパトロール等を行う。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①防犯関係事業【重要事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自主防犯組織の活動を支援する。 ・ 防犯意識の高揚を図る。 ・ LED防犯灯の設置を推進する。 	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業 スケジュール		①防犯関係事業【重】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市防犯協会補助金 ・ 防犯カメラ設置 ・ 特殊詐欺対策機器購入費補助金 ・ LED防犯灯設置 	①防犯関係事業【重】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市防犯協会補助金 ・ 防犯カメラ設置 ・ 特殊詐欺対策機器購入費補助金 ・ LED防犯灯設置 	①防犯関係事業【重】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市防犯協会補助金 ・ 防犯カメラ設置 ・ 特殊詐欺対策機器購入費補助金 ・ LED防犯灯設置 	
	事業費	22,251	22,251	22,251	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
その他		0	0	0	
	一般財源	22,251	22,251	22,251	

【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
	刑法犯認知件数	602	目標値	586	570	554	537	520
		単位：件	実績値	537				
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	22,251 千円	令和3年度決算額	21,549 千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①防犯関係事業【重】 <ul style="list-style-type: none"> ・市防犯協会補助金実績 <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度：会員数 1,737人 173,700円 令和2年度：会員数 1,708人 170,800円 令和3年度：会員数 1,641人 270,765円 ・防犯カメラ設置実績 <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度： 1基 ・特殊詐欺対策機器購入費補助実績 <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度： 6件 36,000円 ・LED防犯灯設置実績 <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度：100灯 令和2年度：100灯 令和3年度：100灯 累計6,165灯 		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A		
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 低
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 低
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 低
評価根拠	・「館林市安全で安心なまちづくりを推進する条例」及び「館林市安全で安心なまちづくり推進計画」に基づき各種事業を実施。		
課題	・安全で安心なまちづくりを推進するため、関係機関及び関係団体との連携を強化し、効果的な施策を実施する必要がある。 ・防犯灯は継続事業として毎年100灯をリース設置しており、設置費用の継続的増加や、設置後の管理方法が課題。また、令和6年3月にリース期間が満了となるので、対策を講じる必要がある。		
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)		
	市民や地域ぐるみの防犯活動等の取り組みが必要であり、暗がり等、犯罪や事故等を誘発する要因等を排除し、夜間における安全性を確保するため、行政区と連携した防犯灯の設置を推進する。		
令和5年度事業計画	・防犯カメラ設置箇所増 ・特殊詐欺対策機器購入費補助 ・防犯灯新設 100灯 ・リース期間満了による防犯灯修繕費の増加		
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較		
備考			

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	12	重要事業		総合戦略		担当部署	市民協働課	市民相談係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)		
7・1・7	消費生活センター運営管理			10,236千円	8,295千円	10,647千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 02_地域と市が連携して、防犯に取り組む安全安心なまちになる
施策の方向	▶ 1_啓発と相談体制の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市民の消費生活における被害防止・安全確保のため、相談及び指導等を行う。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①消費生活センター運営（相談及び苦情の処理、対処方法の助言・指導、被害救済のための斡旋、国データベースへの処理結果登録、立入検査の実施等）	
②消費者教育・啓発（出前講座の開催、啓発資料の作製・配布、注意喚起情報の発信等）	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業スケジュール		①消費生活センター運営 ②消費者教育・啓発	①消費生活センター運営 ②消費者教育・啓発	①消費生活センター運営 ②消費者教育・啓発
事業費		10,647	10,647	10,647
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	10,647	10,647	10,647

【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
消費生活センター出前講座回数		17	目標値	18	18	19	19	20
	単位：回		実績値	8				
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	10,647 千円	令和3年度決算額	7,316 千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■消費生活に関する相談件数 令和元年度 672件 令和2年度 596件 令和3年度 533件 ■消費生活センター出前講座実施回数 令和元年度 17回 令和2年度 1回 (申込数2回※新型コロナウイルスのため、1回は中止) 令和3年度 8回 (申込数14回※新型コロナウイルスのため、6回は中止)		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、出前講座が中止となってしまったが、小学校(第十小)の児童5~6年生とその保護者に対する消費者への啓発(出前講座)を行うことができた。
課題	手口が巧妙化する消費者トラブルや特殊詐欺が増えている中、被害を未然に防ぐための啓発や情報提供がますます必要となっているため、相談員の消費生活相談や消費者への啓発の充実させる必要がある。特に、成年年齢が18歳に引下げによる社会経験の浅い若年層、及び高齢者の不安(健康・お金・孤独)をあおる消費生活のトラブルが今後も増えていくことが懸念されるため、消費者への啓発を続けていく。
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)
	手口が巧妙化する消費者トラブルや特殊詐欺が増えている中、被害を未然に防ぐための啓発活動や相談業務を強化することで、市民生活の安全性の確保に努める必要がある。特に、成年年齢が18歳に引下げによる社会経験の浅い若年層、及び高齢者の不安(健康・お金・孤独)をあおる消費生活のトラブルが今後も増えていくことが懸念されるため、消費者への啓発を続けていく。また、現在の相談体制を維持するためには、今後も引き続き、相談員の技術力向上のための研修の機会を確保しながら相談体制を充実させていく必要がある。
令和5年度事業計画	消費者被害を未然に防ぐために、消費生活に関する啓発や情報提供を積極的に行い、また、相談体制を充実させるなど、消費生活の安全性を確保し、安心した生活がおくれるよう消費者保護を図ります。
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	13	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	建築課	住宅施設係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)		
8・6・1	空家対策関係			2,855千円	2,233千円	3,855千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
施策目的	▶ 02_地域と市が連携して、防犯に取り組む安全安心なまちになる
施策の方向	▶ 5_総合的な空き家対策の推進
施策の方向	▶ 3_空き家の適正管理

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	空き家所有者の自発的な空き家除却を促進し、地域の住環境改善を図る。
----------------	-----------------------------------

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

空家対策関係事業【重要事業】

- ・ 空き家除却助成金
良好で快適な生活環境の形成を図るために、防災・防犯上危険な空き家を所有する者が、その空き家を除却する場合に、市が除却費用の一部を助成する。
- ・ 空き家等の適正管理指導
空き家の周辺住民に影響を及ぼしている空き家所有者等に対し、適切な管理を促すため、情報の提供及び助言等を行うもの。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	空家対策関係事業【重】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家除却助成金 ・ 適正管理通知 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家除却助成金 ・ 適正管理通知 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家除却助成金 ・ 適正管理通知
	事業費			
財源	国庫	900	900	900
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	2,955	2,955	2,955

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
活動指標	空き家除却助成金利用件数（累計）	4	目標値	13	26	39	52	65
		単位：件	実績値	17				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	14	重要事業	総合戦略	担当部署	地球環境課 環境保全係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
4・2・1	環境衛生事業			8,390千円	6,227千円	7,383千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶ 2_環境意識の高揚による各種活動の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	害虫や狂犬病などから市民生活を守り、良好な環境を保全する。 事業内容：スズメバチ駆除、狂犬病予防、犬猫避妊・断種手術補助、池沼の清掃（3漁協委託）、雑草苦情処理など
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
① 狂犬病予防法に関する事務事業 狂犬病予防法に基づく犬の登録、狂犬病予防注射の実施	
② スズメバチの巣駆除事業 安全安心なまちづくりの一環として、生命にも危険を及ぼすスズメバチに限定し活動巣を駆除	
③ 犬、猫の避妊及び断種手術費補助事業 野犬、野良猫の発生抑制	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	① 狂犬病予防法に関する事務事業 犬の登録、狂犬病注射の実施		① 狂犬病予防法に関する事務事業 犬の登録、狂犬病注射の実施	① 狂犬病予防法に関する事務事業 犬の登録、狂犬病注射の実施
	② スズメバチの巣駆除事業		② スズメバチの巣駆除事業	② スズメバチの巣駆除事業
	③ 犬、猫の避妊及び断種手術費補助事業		③ 犬、猫の避妊及び断種手術費補助事業	③ 犬、猫の避妊及び断種手術費補助事業
	事業費	7,383	7,383	7,383
財源	国庫	0	0	0
	県費	553	553	553
	市債	0	0	0
	その他	2,765	2,765	2,765
	一般財源	4,065	4,065	4,065

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	予防注射接種率 (注射件数/登録件数)	目標値	81.9	84.0	86.0	88.0	90.0
		実績値	73.6				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	7,383 千円	令和3年度決算額	6,134 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・スズメバチ駆除件数 令和元年度：108件 令和2年度：133件 令和3年度：113件 ・狂犬病予防注射件数 令和元年度：2,987件 令和2年度：2,875件 令和3年度：2,874件 ・犬猫避妊及び断種手術補助件数 令和元年度：271件 令和2年度：268件 令和3年度：280件 ・雑草苦情処理件数 令和元年度：101件 令和2年度：120件 令和3年度：125件 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	狂犬病予防注射接種率は、年度目標を下回っている。 引き続き、予防注射の重要性を啓発していく必要があると考える。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・私有地における雑草や樹木の管理といった民事間の問題についての苦情も寄せられることから、土地所有者の認識改善や地域課題として取組むなど、市民や関係機関の理解協力が必要である。 ・狂犬病予防注射接種率の低迷改善、地域猫活動登録団体の餌やりによる環境悪化に対する指導（ルール遵守）の継続が必要と考える。 					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	市民の生活環境の維持・向上に向けて、狂犬病予防注射をはじめとした各種環境衛生事業を継続実施していく必要があると考える。					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・犬の登録及び狂犬病予防注射の実施 ・スズメバチ駆除業務 ・犬猫避妊及び断種手術補助 					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	15	重要事業	総合戦略	担当部署	地球環境課 環境保全係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
4・2・1	環境保健委員運営事業			8,721千円	8,239千円	8,672千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶ 2_環境意識の高揚による各種活動の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市民のより良い生活環境の保全と保健衛生向上のため、各行政区に環境保健委員（任期2年）を置く。
----------------	--

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①環境保健委員協議会の運営 常任委員会の開催
②市内クリーン作戦の実施 市内の清掃活動
③廃タイヤ等の有料回収 処理困難物である廃タイヤや廃バッテリーを有料で回収
④視察研修 委員として必要な知識と技術の向上を図るための視察研修
⑤研修会及び意見交換会 委員としての知識を身につけるとともに、市内の現況について理解を深めてもらうため実施

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①環境保健委員協議会の運営 常任委員会の開催		①環境保健委員協議会の運営 常任委員会の開催	①環境保健委員協議会の運営 常任委員会の開催
	②市内クリーン作戦の実施		②市内クリーン作戦の実施	②市内クリーン作戦の実施
	③廃タイヤ等の有料回収		③廃タイヤ等の有料回収	③廃タイヤ等の有料回収
	④視察研修		④視察研修	④視察研修
	⑤研修会及び意見交換会		⑤研修会及び意見交換会	⑤研修会及び意見交換会
	事業費	8,672	8,672	8,672
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	8,672	8,672	8,672

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 常任委員会の開催	5	目標値	5	5	5	5	5
	単位：回	実績値	2				
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	8,672 千円	令和3年度決算額	8,076 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員数 令和元年度：135名 令和2年度：135名 令和3年度：135名 ・ 常任委員会の開催 令和元年度：6回 令和2年度：2回 令和3年度：2回 ・ クリーン作戦参加者数 令和元年度：1回、89名 令和2年度：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 令和3年度：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	新型コロナウイルス感染症の影響により、常任委員会の開催は2回にとどまり年度目標を下回っている。感染症の動向を注視しながら、時機に応じた対応を図る必要があると考える。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員の高齢化 ・ 委員の業務の平準化 					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	市民の生活環境の維持・向上という観点から環境保健委員の担う役割は大きく、ゴミの分別排出の指導や不法投棄の防止対策などについて継続実施していく必要があると考える。					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常任委員会の開催 ・ 市内クリーン作戦の実施 ・ 廃タイヤ等の有料回収 ・ 視察研修 ・ 研修会及び意見交換会 					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	16	重要事業		総合戦略		担当部署	地球環境課 環境保全係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
4・2・1	鳥獣保護対策事業			1,181千円	841千円	1,152千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶ 1_多様な協力連携による自然環境の保全

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	鳥獣保護法に基づき、鳥類又は哺乳類に属する野生動物を保護し、生物多様性の確保及び自然生態系の維持を図る。一方で、有害鳥獣による農業被害や生活環境への悪影響対策を推進する。
----------------	---

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ① 越冬飛来白鳥の調査と保護
多々良沼及び城沼に飛来する白鳥について、白鳥を守る会に依頼し飛来数を調査
最も飛来数が増える2月に毎週1回、同時間帯による一斉調査を行う
- ② 有害鳥獣捕獲許可事業事務事業
農業被害や生活環境に悪影響を及ぼす有害鳥獣の捕獲許可事務

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	① 越冬飛来白鳥の調査と保護		① 越冬飛来白鳥の調査と保護	① 越冬飛来白鳥の調査と保護
	② 有害鳥獣捕獲許可事業		② 有害鳥獣捕獲許可事業	② 有害鳥獣捕獲許可事業
事業費		1,152	1,152	1,152
財源	国庫	0	0	0
	県費	620	620	620
	市債	0	0	0
	その他	45	45	45
	一般財源	487	487	487

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	有害鳥獣捕獲許可件数	目標値	40	40	40	40	40
		実績値	31				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	1,152千円	令和3年度決算額	890千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・白鳥飛来数（日最大飛来数） 令和元年度：182羽（2月12日） 令和2年度：248羽（2月10日） 令和3年度：253羽（2月10日） ・鳥獣の捕獲許可件数及び捕獲数 令和元年度：37件、447頭 令和2年度：37件、390頭 令和3年度：31件、373頭 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	有害鳥獣捕獲許可件数は、年度目標を下回っている。 生活環境及び農林水産業等への被害防止を目的とした捕獲許可については、継続する必要があると考える。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣による被害減少を図るための防除方法の周知 ・農業被害を担当する農業振興課との連携強化 ・多々良沼野鳥観察棟の省エネ化の検討（蛍光灯LED化） 					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	生活環境保全及び農業被害防止のため、鳥獣保護及び有害鳥獣対策は継続していく必要があると考える。					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・越冬飛来白鳥の調査と保護 ・有害鳥獣捕獲許可事業 					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	17	重要事業	総合戦略	担当部署	地球環境課 環境保全係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
4・2・1	クビアカツヤカミキリ撲滅事業			9,934千円	4,533千円	8,808千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶ 1_多様な協力連携による自然環境の保全

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市民との協働による撲滅事業等を実施することにより、特定外来生物クビアカツヤカミキリの被害拡大防止を図る。
----------------	--

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①クビアカツヤカミキリ撲滅事業
 - ・ 駆除奨励金、奨励品の交付
 - ・ 防除用薬剤の配布
 - ・ 防除用防虫ネットの配布
 - ・ 薬剤樹幹注入処理
- ②邑楽館林クビアカツヤカミキリ対策協議会
 - ・ 被害拡散防除のための伐倒

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①クビアカツヤカミキリ撲滅事業 ・ 駆除奨励金、奨励品の交付 ・ 防除用薬剤の配布 ・ 防除用防虫ネットの配布 ・ 薬剤樹幹注入処理		①クビアカツヤカミキリ撲滅事業 ・ 駆除奨励金、奨励品の交付 ・ 防除用薬剤の配布 ・ 防除用防虫ネットの配布 ・ 薬剤樹幹注入処理	①クビアカツヤカミキリ撲滅事業 ・ 駆除奨励金、奨励品の交付 ・ 防除用薬剤の配布 ・ 防除用防虫ネットの配布 ・ 薬剤樹幹注入処理
	②邑楽館林クビアカツヤカミキリ対策協議会 ・ 防除のための伐倒		②邑楽館林クビアカツヤカミキリ対策協議会 ・ 防除のための伐倒	②邑楽館林クビアカツヤカミキリ対策協議会 ・ 防除のための伐倒
事業費		8,808	8,808	8,808
財源	国庫	0	0	0
	県費	2,992	2,992	2,992
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	5,816	5,816	5,816

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	クビアカツヤカミキリ捕殺匹数	目標値	7,765	8,324	8,882	9,441	10,000
		実績値	7,503				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	8,808 千円	令和3年度決算額	8,085 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防除のための伐倒本数 令和元年度：7本、令和2年度：17本、令和3年度：14本 ・ 成虫の捕殺数 令和元年度：6,648匹、令和2年度：6,249匹、令和3年度：7,503匹 ・ 防除用薬剤配布数 令和元年度：173本、令和2年度：97本、令和3年度：95本 ・ 防除用防虫ネット配布数 令和元年度：366.5m、令和2年度：155.0m、令和3年度：232.0m ・ 樹幹注入処理 令和2年度：84本、令和3年度：172本 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	C
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	多くの市民の協働によるクビアカツヤカミキリの捕殺数は、年度目標を上回っている。被害地域拡大防止等の観点からも、撲滅プロジェクトの継続は必要であると考ええる。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民、事業者へのさらなる周知 ・ 被害の多いサクラに効果のある樹幹注入薬剤や被害木伐倒には多額の費用を要するため、国や県に支援拡充の働きかけを引き続き行う必要がある。
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)
	市民と行政が一丸となって撲滅プロジェクトを推進することが被害地域拡大防止等に寄与すると考えられるため、今後も地道な活動を継続していく必要があると考える。
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ クビアカツヤカミキリ撲滅事業の推進（奨励金等の交付、防除用品の配布、薬剤樹幹注入） ・ 邑楽館林地域クビアカツヤカミキリ対策協議会による被害木の伐倒
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	18	重要事業	総合戦略	担当部署	地球環境課 環境保全係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
4・2・2	環境調査事業			4,511千円	3,431千円	4,804千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶ 4_各種調査による状況把握及び指導による公害防止

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	水質・騒音等を経年的に調査・測定するなど現状把握に努め、生活環境の保全対策を推進する。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①公共用水域水質調査 水質汚濁法第16条の規定による県知事作成する測定計画に基づく公共用水域の水質調査	
②騒音測定調査 （環境基本法第16条の規定に基づき）「騒音に係る環境基準」に定められた一般地域（道路に面する地域以外の地域）における騒音の環境基準について、達成状況を把握するための調査	
③自動車騒音常時監視 騒音規制法第18条の規定による自動車騒音の常時監視に係る事務（平成24年度より群馬県から移譲された法定受託事務）	
④食品放射性物質検査 安全・安心を確保するため、食品に含まれる放射性物質の検査	
⑤空間放射線量測定 安全・安心を確保するため、市内14カ所の空間放射線量を測定	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①公共用水域水質調査		①公共用水域水質調査	①公共用水域水質調査
	②騒音測定調査		②騒音測定調査	②騒音測定調査
	③自動車騒音常時監視		③自動車騒音常時監視	③自動車騒音常時監視
	④食品放射性物質検査		④食品放射性物質検査	④食品放射性物質検査
	⑤空間放射線量測定		⑤空間放射線量測定	⑤空間放射線量測定
	事業費	4,804	4,804	4,804
財源	国庫	0	0	0
	県費	161	161	161
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	4,643	4,643	4,643

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	環境騒音測定超過か所数	目標値	0	0	0	0	0
		実績値	0				
活動指標	自動車騒音測定基準値達成率	目標値	98.4	98.55	98.7	98.85	99
		実績値	98.8				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	4,804 千円	令和3年度決算額	3,158 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・食品放射性物質検査（学校給食等すべて含む） 令和元年度：68件（不検出）、令和2年度：64件（不検出）、令和3年度：71件（不検出） ※令和2年度から地球環境課では市民検査のみ実施 ・空間放射線量測定 平成29年度～令和元年度：14か所を年4回 0.23μSv以下、令和2年度～：年2回 ・専用水道等監視業務（立入検査） 令和元年度：0回、令和2年度：1回、令和3年度：1回 ・公共用水域水質調査 城沼中央部におけるBOD値（75%値） 令和元年度：8.3mg/L、令和2年度：8.8mg/L、令和3年度：6.0mg/L ・騒音測定調査（環境騒音） 令和元年度：8か所（基準値内）、令和2年度：8か所（基準値内）、令和3年度：8か所（基準値内） ・自動車騒音常時監視 令和元年度：4路線（基準値達成率 98.1%）、令和2年度：6路線（同 98.7%）、 令和3年度：6路線（同 98.8%） 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	環境騒音測定超過か所数は年度目標どおり、自動車騒音測定基準値達成率については、年度目標を上回っている。 生活環境を保全する観点から、継続的な調査実施が必要であると考えます。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・騒音測定計画の更新及び調査か所数の見直し ・臭気測定のサンプル採取について、正確な調査結果を得るために全面委託化を検討する必要がある。 					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	生活環境の保全に努めるため、環境調査及び測定を行い現状把握する必要があると考えます。					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・公共用水域水質調査 ・騒音測定調査 ・自動車騒音常時監視業務 ・食品放射性物質検査 ・空間放射線量測定 					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	19	重要事業	○	総合戦略		担当部署	地球環境課 環境保全係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
4・2・2	水質浄化対策事業			21,812千円	17,030千円	23,368千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶ 5_公共下水道及びし尿処理施設の計画的な更新

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	日本遺産「里沼」の水辺環境を後世に引継ぐため、生活排水対策として合併処理浄化槽の設置などを推進するとともに、水辺環境保全に対する市民の意識啓発を図る。
----------------	---

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①合併処理浄化槽設置費補助	
②合併処理浄化槽管理費補助	
③水辺環境保全団体の活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 城沼サミット開催 ・ 加法師川清掃活動

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①合併処理浄化槽設置費補助		①合併処理浄化槽設置費補助	①合併処理浄化槽設置費補助
	②合併処理浄化槽管理費補助		②合併処理浄化槽管理費補助	②合併処理浄化槽管理費補助
	③水辺環境保全団体の活動支援		③水辺環境保全団体の活動支援	③水辺環境保全団体の活動支援
	・ 城沼サミット開催 ・ 加法師川清掃活動		・ 城沼サミット開催 ・ 加法師川清掃活動	・ 城沼サミット開催 ・ 加法師川清掃活動
事業費		23,368	23,368	23,368
財源	国庫	9,420	9,420	9,420
	県費	5,110	5,110	5,110
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	8,838	8,838	8,838

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
総合計画 指標	BOD数値（城沼中央の水質） mg/L	8.3	目標値	7.2	6.65	6.1	5.55	5以下
			実績値	6.0				
活動指標	合併処理浄化槽設置費補助件数	17	目標値	30	30	30	30	30
			実績値	30				
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	23,368 千円	令和3年度決算額	20,518 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合併処理浄化槽設置費補助件数 令和元年度：17件 令和2年度：24件 令和3年度：30件 ・ 合併処理浄化槽管理費補助件数 令和元年度：372基 令和2年度：348基 令和3年度：267基 ・ 城沼サミット参加者数 令和元年度：74名 令和2年度：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 令和3年度：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	BOD数値については、年度目標を上回っている。 合併処理浄化槽設置費補助件数については、年度目標を達成している。 水質浄化に向けて、合併処理浄化槽への転換をさらに推進していく必要があると考える。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水質汚濁原因を究明するため、生活排水の実態把握とその状況に応じた施策を展開し市民の意識啓発を図る必要がある。 ・ 令和2年度から拡充した「宅内配管工事費補助」の更なる周知による合併処理浄化槽への転換基数の増加。 					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	合併浄化槽への転換を推進し水質浄化を図るため、循環型社会形成推進交付金及び県浄化槽エコ補助金を活用した補助事業を継続していく必要があると考える。					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合併処理浄化槽設置費補助 ・ 合併処理浄化槽管理費補助 ・ 水辺環境保全団体の活動支援 					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	20	重要事業	○	総合戦略		担当部署	地球環境課 環境政策係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
4・2・2	地球温暖化対策事業			2,711千円	1,803千円	4,268千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶ 3_地球温暖化対策の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	C02をはじめとする温室効果ガスの削減や再生可能エネルギー等の普及、省エネルギーの推進、ヒートアイランド現象に対する適用策を通じて、地球温暖化の防止及び本市の暑さ対策を推進する。
----------------	---

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①地球温暖化対策事業【重要事業】

- ・ 第5次館林市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の運用
令和7年度に基準年度比14%の温室効果ガス排出量の削減を目標に、各課へ省エネの取組を依頼し、前年度の実績を取りまとめて報告・公表する
- ・ 再生可能エネルギー・省エネルギー対策の推進
- ・ 館林市蓄電池設備設置補助金の交付
家庭における温室効果ガスの排出抑制、災害時の停電に備えるため、蓄電池の設置（購入）した方に補助金（館林市金券）を交付する
- ・ 館林市暑さ対策本部・市民会議の開催、運営
暑さ対策及び熱中症対策を、行政・市民・事業者等が協働してすすめるもの。今年度市暑さ対策本部の終了を検討予定

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①地球温暖化対策事業【重】 ・ 第5次館林市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の運用 ・ 再生可能エネルギー・省エネルギー対策の推進 ・ 蓄電池設備設置補助金の交付 ・ 暑さ対策本部・市民会議の開催、運営と見直し	①地球温暖化対策事業【重】 ・ 第5次館林市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の運用 ・ 再生可能エネルギー・省エネルギー対策の推進 ・ 蓄電池設備設置補助金の交付 ・ 気候変動対策本部の設置・運営	①地球温暖化対策事業【重】 ・ 第5次館林市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の運用 ・ 再生可能エネルギー・省エネルギー対策の推進 ・ 蓄電池設備設置補助金の交付 ・ 気候変動対策本部の運営
	事業費	4,268	4,268	4,268
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	1,214	1,214	440
	一般財源	3,054	3,054	3,828

【関連する指標】

指標	現状値 (H30年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	環境にやさしい暮らしを実践している 市民の割合（アンケート）	目標値	95.0	95.4	95.9	96.4	96.8
		実績値	96.5				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	4,268 千円	令和3年度決算額	6,583 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・環境パトロール用電気自動車の導入 ・ミスト発生装置（扇風機）貸出事業 令和元年度 37件 令和2年度 16件 令和3年度 6件 ・蓄電池設備設置補助事業 ※令和3年度新規 令和3年度89件（定置用31件、ポータブル58件） ・暑さ対策本部会議、市民会議の開催 令和元年度 各2回 令和2年度 本部会議2回、市民会議開催中止（資料送付） 令和3年度 本部会議2回、市民会議1回 ・クールシェアスポット利用促進事業 ※事業終了 令和元年度 29か所（うち民間9か所） ・冷え冷え打ち水プロジェクト ※事業終了 令和元年度 第七小学校（雨天中止） 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	指標については年度目標を上回ることができたが、温室効果ガスの削減については、第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）で定めた目標値を達成することができなかった。今後は第5次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）で定めた目標値を達成できるよう、市が率先して地球温暖化防止対策に取り組む必要があると考える。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガスの削減や省エネの推進、暑さ対策については、地球規模の大きな課題であり、個々の対策の積み重ねが大切である。これらの対策について市民一人一人の心を動かし、市民の間に浸透させる政策を考えなければならない。 ・クリーンエネルギーの導入（市庁舎等市有施設） ・たてばやしクリーンセンター余熱有効利用の検討 					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	地球規模の気候変動に対応するため、引き続き地球温暖化防止対策について市が継続して取り組み、市民を動かせるようにする必要があるため、継続実施していく必要があると考える。					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・第5次館林市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の運用 ・再生可能エネルギー・省エネルギー対策の推進 ・館林市蓄電池設備設置補助金の交付 ・気候変動対策本部の開催、運営 					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	21	重要事業	○	総合戦略		担当部署	地球環境課 環境政策係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
4・2・2	環境管理事業			6,342千円	5,402千円	5,260千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶ 2_環境意識の高揚による各種活動の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	環境マネジメントシステム（EMS）の運用を通じて、第三次環境基本計画の進行管理、省エネ・省資源などのエコオフィス活動の着実な推進を図り、地球環境にやさしい行政活動を推進する。
----------------	---

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①環境管理事業【重要事業】

- ・環境審議会の運営
環境基本条例第26条に基づき設置され、良好で快適な環境の保全及び創造に関する重要事項について調査審議する
- ・第三次館林市環境基本計画の運用及び進行管理
環境基本条例第7条に基づき、良好で快適な環境の保全及び創造に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために定められる
- ・たてばやし5つのゼロ宣言の進行管理
- ・館林市環境マネジメントシステムの運用
自治体や企業などの活動によって生じる環境への負荷を低減するとともに、環境保全活動の推進のための目標を設定し、その目標を達成するための取り組みを実施
- ・省エネ法、温対法、県条例への対応
全庁的なエネルギー使用量を把握し、各種法令に基づき毎年報告等を行う
- ・館林市環境賞
- ・環境教育の推進

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①環境管理事業【重】 ・環境審議会の運営 ・第三次館林市環境基本計画の運用 ・たてばやし5つのゼロ宣言の進行管理 ・環境マネジメントシステムの運用 ・省エネ法、温対法、県条例への対応 ・館林市環境賞 ・環境教育の推進	①環境管理事業【重】 ・環境審議会の運営 ・第三次館林市環境基本計画の運用 ・たてばやし5つのゼロ宣言の進行管理 ・環境マネジメントシステムの運用 ・省エネ法、温対法、県条例への対応 ・館林市環境賞 ・環境教育の推進	①環境管理事業【重】 ・環境審議会の運営 ・第三次館林市環境基本計画の運用 ・たてばやし5つのゼロ宣言の進行管理 ・環境マネジメントシステムの運用 ・省エネ法、温対法、県条例への対応 ・館林市環境賞 ・環境教育の推進
	事業費	5,260	5,260	5,260
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	5,260	5,260	5,260

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	小中学校、団体、市民への環境学習支援講座開催数	1	目標値	3	6	9	12	14
		単位：回	実績値	1				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	5,260 千円	令和3年度決算額	4,242 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境審議会 令和元年度 6回 令和2年度 2回 令和3年度 2回 ・ 館林市環境賞 令和元年度 4団体 令和2年度 1個人、3団体 令和3年度 3個人、3団体 ・ 環境ISO運用事業 環境マネジメントシステム運用業務 環境監査業務 省エネ法等の各種法令対応業務 ・ 環境標語コンクール ※事業終了 令和元年度 市長賞1、優秀賞14 令和2年度 新型コロナ感染拡大のため中止 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、講座開催数は年度目標を下回っている。ワクチン接種が進んだことや医療提供体制の強化により、日常生活・社会経済活動が回復してきたことから、感染状況を注視しつつ事業を推進していく必要があると考える。					
課題	省エネ・省資源対策について、事務局のみの対応には限界があることから、各課・施設が当事者意識を持ち、自ら積極的に取り組む職員を育てることが必要と考える。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	第三次館林市環境基本計画に基づき、省エネ・省資源等の実現に向けて率先して事業を行う必要があるため、継続実施していく必要があると考える。					
令和5年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境審議会の運営 ・ 第三次館林市環境基本計画・たてばやし5つのゼロ宣言の進行管理 ・ 省エネ法、温対法、県条例への対応 ・ 環境マネジメントシステム運用業務等 ・ 環境啓発事業（環境フェスティバル等） 					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	22	重要事業		総合戦略		担当部署	地球環境課 環境保全係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
4・2・2	自然環境保全事業			1,230千円	872千円	1,865千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶ 1_多様な協力連携による自然環境の保全

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去、蛇沼に自生していたオニバスが、平成7年に30数年ぶりに確認されたことをきっかけに、残された湿原一体を、水辺環境や里山の復元とこの地域に自生していた貴重な動植物の再生を目指すもの。 ・ 雨水を水資源として活用することにより地下水保全・地盤沈下対策を図ると共に、雨水の一時貯留、地下浸透による雨水排水対策を兼ねるもの。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①上赤生田学びの森整備事業 四中の森下草刈り・葎焼き ②雨水浸透柵等設置補助事業	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①上赤生田学びの森整備事業 四中の森下草刈り・葎焼き		①上赤生田学びの森整備事業 四中の森下草刈り・葎焼き	①上赤生田学びの森整備事業 四中の森下草刈り・葎焼き
	②雨水浸透柵等設置補助事業		②雨水浸透柵等設置補助事業	②雨水浸透柵等設置補助事業
事業費		1,865	1,865	1,865
財源	国庫	0	0	0
	県費	250	250	250
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,615	1,615	1,615

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
活動指標	雨水浸透柵設置費補助件数	32	目標値	38	41	44	47	50
		単位：基	実績値	34				
活動指標	雨水貯留槽設置費補助件数	1	目標値	4	6	7	9	10
		単位：件	実績値	5				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	1,865 千円	令和3年度決算額	1,210 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・上赤生田学びの森整備事業 (四中の森下草刈り・葎焼き参加者数) 令和元年度：5回 27名 令和2年度：4回 18名 令和3年度：2回 5名 ・雨水浸透柵等設置補助事業 令和元年度：浸透柵 32基、貯留槽 1件 令和2年度：浸透柵 16基、貯留槽 4件 令和3年度：浸透柵 34基、貯留槽 5件			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	雨水浸透柵設置費補助件数、雨水貯留槽設置費補助件数ともに年度目標を上回っている。雨水の有効利用促進及び地下水保全のために、補助事業を継続する必要があると考える。					
課題	・上赤生田学びの森を整備する里山育成ボランティアの高齢化及び参加人数の減少。 ・日本遺産「里沼」の構成資産の一つとして認定されたことに伴う今後の整備方針。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	蛇沼湿原の水辺環境維持及び地下水保全のため、これらの事業を継続していく必要があると考える。					
令和5年度事業計画	・上赤生田学びの森整備 ・雨水浸透柵等設置補助					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	23	重要事業		総合戦略		担当部署	下水道課 工務係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
4・3・3	地域し尿処理施設維持管理事業			28,342千円	25,997千円	26,521千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市民が良好な環境のなかで安全安心に生活できるまちづくりに貢献するため、分福地域し尿処理施設及び大島地域し尿処理施設の適切な維持管理に努める。
----------------	--

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①地域し尿処理施設（分福・大島）の維持管理
 汚水処理施設運転維持管理包括業務委託（地域し尿処理施設）を実施

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		汚水処理施設運転維持管理包括業務委託（地域し尿処理施設）R2～6年度	汚水処理施設運転維持管理包括業務委託（地域し尿処理施設）R2～6年度	汚水処理施設運転維持管理包括業務委託（地域し尿処理施設）R2～6年度
事業費		26,521	26,521	26,521
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	26,521	26,521	26,521
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	分福地域し尿処理施設 放流水質BOD (≦基準値20mg/L) 単位：mg/L	目標値	18以下	18以下	18以下	18以下	18以下
		実績値	2.2				
活動指標	大島地域し尿処理施設 放流水質BOD (≦基準値20mg/L) 単位：mg/L	目標値	18以下	18以下	18以下	18以下	18以下
		実績値	3.0				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	26,521千円	令和3年度決算額	25,546千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	委託料	工事請負費		
	令和元年度	13,734千円	5,940千円	
	令和2年度	19,918千円	4,026千円	
	令和3年度	20,026千円	1,001千円	
	R3：汚水処理施設運転維持管理包括業務委託（地域し尿処理施設）等			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	地域し尿処理施設は、周辺の住民にとって必要不可欠な存在であるため、今後も適切に維持管理を行い存続させる必要がある。 施設の運転維持管理業務について、水質管理センター等と一体的に令和2年度から6年度までの5か年間の包括業務委託を実施している。					
課題	施設の老朽化が著しいことから、補修箇所の調査検討を行うとともに、更新計画に従い適切な機器更新を行う必要がある。					
【Action】 今後の方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	・施設計画結果をもとに、老朽化対策に取り組む。 ・更新計画に従い、機器の更新を行う。 ・地域し尿処理施設の運転維持管理業務について、引き続き包括業務委託を実施していく。					
令和5年度事業計画	①地域し尿処理施設（分福・大島）の維持管理 汚水処理施設運転維持管理包括業務委託（地域し尿処理施設）					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	24	重要事業	総合戦略	担当部署	下水道課 工務係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
下水道事業会計	管渠管理費 (公共)			19,533千円	12,001千円	17,370千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶01_防災意識や危機対応力を高め.自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
	▶03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	下水道管きよを市民が安全安心に利用できるよう、定期的な清掃業務や点検・補修といった維持管理に努める。
----------------	--

令和3年度事業計画 (主要な事業とその取組内容)

①汚水管きよ清掃

②下水道マンホール蓋等修繕

③雨水きよ除草

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①汚水管きよ清掃 ②下水道マンホール蓋等修繕 ③雨水きよ除草	①汚水管きよ清掃 ②下水道マンホール蓋等修繕 ③雨水きよ除草	①汚水管きよ清掃 ②下水道マンホール蓋等修繕 ③雨水きよ除草
	事業費	17,370	17,370	17,370
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	17,370	17,370	17,370
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 汚水管きよ清掃延長	1,622	目標値	2,081	2,311	2,540	2,770	3,000
	単位：m	実績値	2,523				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	17,370千円	令和3年度決算額	14,287千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	委託料	修繕費	工事請負費	
	令和元年度	2,892千円	一千円	6,727千円
	令和2年度	4,070千円	7,578千円	一千円
	令和3年度	5,016千円	9,143千円	一千円
	R3：汚水管清掃業務委託、汚水管路調査業務委託、雨水きよ除草業務委託、下水道マンホール蓋等修繕 等			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与 している事業であ る	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有 無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得ら れている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果 が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	管きよの維持管理は、汚水管きよ及び雨水きよの維持補修が必須であり、存続させる必要がある。					
課題	下水管きよにゴミや土砂がたまり、汚水や雨水の流れを妨げたり、毎日の使用で傷みが出たりするため、定期的な清掃・点検・補修が必要である。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	・定期的な点検を行い、清掃及び補修を行う。					
令和5年 度事業計 画	①汚水管きよ清掃 ②下水道マンホール蓋等修繕 ③雨水きよ除草					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	25	重要事業	○	総合戦略	○	担当部署	下水道課 工務係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
下水道事業会計	管渠整備費 (公共)			343,987千円	322,403千円	398,276千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶01_防災意識や危機対応力を高め.自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
	▶03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶4_排水施設整備による被害防止
	▶5_公共下水道及びし尿処理施設の計画的な更新

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	衛生的で快適な生活環境の向上及び河川や沼の水質保全に寄与するため、汚水きよの整備を計画的に進める。また、発生が懸念される集中豪雨による浸水被害を防止するべく、雨水きよの整備を計画的に進め、安全安心なまちをつくる。
令和3年度事業計画 (主要な事業とその取組内容)	
①汚水きよの整備・更新	
②雨水きよの整備	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業スケジュール	①汚水きよの整備・更新工事 ②雨水きよの整備	①汚水きよの整備・更新工事 ②雨水きよの整備	①汚水きよの整備・更新工事 ②雨水きよの整備	
事業費	398,276	398,276	398,276	
財源	国庫	162,100	162,100	162,100
	県費	1,600	1,600	1,600
	市債	198,700	198,700	198,700
	その他	35,876	35,876	35,876
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画 指標	公共下水道雨水きよの整備率	目標値	74.8	75	75.2	75.4	75.6
		実績値	70.2				
総合計画 指標	下水道水洗化率	目標値	90.2	90.5	90.8	91.1	91.4
		実績値	90.8				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	398,276千円	令和3年度決算額	294,766千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	委託料	工事請負費		
	令和元年度	55,887千円	174,548千円	
	令和2年度	44,616千円	271,142千円	
	令和3年度	46,673千円	245,122千円	
	R3：汚水管きよ実施設計業務委託、汚水管築造工事、汚水幹線築造工事、雨水幹線築造工事 等			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	未整備地区の整備が必要なうえに、今後、管きよの耐用年数が50年を経過するものが急速に増加してくる。管きよの老朽化は、社会的影響も大きいため早急な対応が必要であり、管路ストックマネジメント計画に基づき調査、点検、改築事業を計画的に進める必要がある。					
課題	市民の日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生等を未然に防止するため、調査、点検を実施し、予防保全型の計画的、効率的な維持管理を進めていく。施設の健全度により多額の改築費が必要となってくる。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	・下水道管きよの整備及び下水道の維持・更新を効率的に推進していく。					
令和5年度事業計画	①汚水きよの整備・更新工事 ②雨水きよの整備					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	26	重要事業	総合戦略	担当部署	下水道課 工務係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
下水道事業会計	ポンプ場管理費 (公共)			10,865千円	5,787千円	15,793千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶01_防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる
	▶03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	尾曳汚水中継ポンプ場、高根汚水中継ポンプ場については、自然流下のため各ポンプ施設で高所に下水を汲み上げている。多々良沼雨水ポンプ場については、農繁期において多々良沼からの揚水、又大雨時に多々良沼への排水としての役割がある。
令和3年度事業計画 (主要な事業とその取組内容)	
①汚水中継ポンプ場 (尾曳・高根) の維持管理 高根・尾曳汚水中継ポンプ場機器修繕	
②多々良沼雨水ポンプ場の維持管理	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①汚水中継ポンプ場 (尾曳・高根) の維持管理 ②多々良沼雨水ポンプ場の維持管理	①汚水中継ポンプ場 (尾曳・高根) の維持管理 ②多々良沼雨水ポンプ場の維持管理	①汚水中継ポンプ場 (尾曳・高根) の維持管理 ②多々良沼雨水ポンプ場の維持管理
	事業費	15,793	15,793	15,793
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	15,793	15,793	15,793
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	15,793千円	令和3年度決算額	7,548千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	委託料	修繕費	工事請負費	
	令和元年度	572千円	一千円	86千円
	令和2年度	1,166千円	3,410千円	一千円
	令和3年度	1,166千円	5,027千円	一千円
	R3：多々良沼雨水ポンプ場維持管理業務委託 尾曳汚水中継ポンプ場No1汚水ポンプ修繕 等 (尾曳・高根中継ポンプ場の管理は、水質管理センター包括業務委託に含まれている。)			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	下水を中継する施設、また雨水を揚水・排水する施設は、適切な汚水、雨水処理のために継続的に必要である。
課題	高根汚水中継ポンプ場は平成18年に供用開始されたため、比較的修理や補修は少ないが、尾曳汚水中継ポンプ場については昭和61年供用開始のため、施設の老朽化が課題である。
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)
	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な点検を行い、清掃及び補修を行う。 ・尾曳・高根中継ポンプ場の運転維持管理業務について、引き続き包括業務委託を実施していく。
令和5年度事業計画	①汚水中継ポンプ場（尾曳・高根）の維持管理 汚水処理施設運転維持管理包括業務委託（公共下水道処理施設） ②多々良沼雨水ポンプ場の維持管理
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	27	重要事業	総合戦略	担当部署	下水道課 工務係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
下水道事業会計	処理場管理費 (公共・特定)			322,047千円	296,794千円	313,993千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	公共下水道は住環境の改善、河川等の水質向上を担っており、市民が衛生的で快適な暮らしを実現するために欠かすことのできない施設であるため、適切な施設の維持管理に努める。 近藤処理区は工場排水を受け入れ近藤川へ放流するため、適切な施設の維持管理や工場排水の水質基準の監視に努める。
----------------	--

令和3年度事業計画 (主要な事業とその取組内容)

①水質管理センターの維持管理

②近藤処理場の維持管理

汚水処理施設運転維持管理包括業務委託 (公共下水道処理施設) を実施

【事業スケジュール】

(単位: 千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		汚水処理施設運転維持管理包括業務委託 (公共下水道処理施設) R2 ~6年度	汚水処理施設運転維持管理包括業務委託 (公共下水道処理施設) R2 ~6年度	汚水処理施設運転維持管理包括業務委託 (公共下水道処理施設) R2 ~6年度
事業費		313,993	313,993	313,993
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	313,993	313,993	313,993
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	水質管理センター放流水質BOD (≦基準値15mg/L) 単位: mg/L	目標値	13.5以下	13.5以下	13.5以下	13.5以下	13.5以下
		実績値	3.7				
活動指標	近藤処理場放流水質BOD (≦基準値15mg/L) 単位: mg/L	目標値	13.5以下	13.5以下	13.5以下	13.5以下	13.5以下
		実績値	5.2				
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	313,993千円	令和3年度決算額	291,136千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	処理場管理費（水質管理センター・近藤処理場）			
		委託料	修繕費	工事請負費
	令和元年度	214,523千円	10,296千円	21,043千円
	令和2年度	260,020千円	35,068千円	－千円
令和3年度	256,168千円	34,760千円	－千円	
	R3：汚水処理施設運転維持管理包括業務委託（公共下水道処理施設）、 脱水ケーキ場外搬出、処分業務委託、水質管理センターNo1汚泥供給ポンプ修繕 等			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与 している事業であ る	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有 無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得ら れている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果 が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	水質管理センターは公衆衛生を向上させ、汚水を適切に処理する施設であるため、今後も適切に維持管理を行い、存続させる必要がある。 近藤処理場は工場排水を受け入れ近藤川へ放流する施設であるため、適切な施設の維持管理や工場排水の水質基準の監視を継続していく必要がある。					
課題	公共が昭和49年、特定が昭和44年に供用開始してから概ね50年が経過しており、老朽化する施設の修繕費用の増大が課題である。また、河川の水質を向上するため、適切な下水処理場の運転を行っていく必要がある。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	<ul style="list-style-type: none"> ・耐用年数を超過した機器や設備等の改修及び修繕に取り組む。 ・水質管理センター及び近藤処理場の運転維持管理業務について、引き続き包括業務委託を実施していく。 					
令和5年 度事業計 画	①水質管理センターの維持管理 汚水処理施設運転維持管理包括業務委託（公共下水道処理施設） ②近藤処理場の維持管理 汚水処理施設運転維持管理包括業務委託（公共下水道処理施設）					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	28	重要事業	総合戦略	担当部署	下水道課 管理係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
下水道事業会計	総係費			31,166千円	30,386千円	32,444千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	下水道事業の総係費 下水道法に基づく本市の処理区域内において、公共下水道の接続促進を図る。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①水洗便所改造費補助金交付事業 公共下水道に接続するため、水洗便所に改造する工事を行う者に対して補助金を交付する。 （補助金額） ・ 供用開始日と公示された日から1年以内に公共下水道に接続した場合 30,000円 ・ 供用開始日と公示された日から2年以内に公共下水道に接続した場合 20,000円 ・ 供用開始日と公示された日から3年以内に公共下水道に接続した場合 10,000円	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①水洗便所改造費補助金交付事業 事業費 320千円	①水洗便所改造費補助金交付事業 事業費 320千円	①水洗便所改造費補助金交付事業 事業費 320千円
事業費		32,444	32,444	32,444
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	32,444	32,444	32,444
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
活動指標	水洗便所改造費補助金交付件数	2	目標値	4	5	6	7	8
		単位：件	実績値	10				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	32,444 千円	令和3年度決算額	32,020 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・水洗便所改造費補助 令和元年度： 2件 40千円 令和2年度： 8件 240千円 令和3年度： 10件 290千円			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	水洗便所改造費補助金は、令和3年度10件、令和4年度3件（5月末時点）の実績があり、下水道接続促進に一定の効果があると考えられる。					
課題	事業の財源を確保するため、経常経費の一層の削減と、使用料収益増のため下水道未接続者への更なる接続促進が必要である。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	・使用料収益増のため、引き続き下水道未接続者へ接続を促していく。					
令和5年度事業計画	①水洗便所改造費補助金交付事業					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	29	重要事業	総合戦略	担当部署	下水道課 工務係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
下水道事業会計	処理場管理費 (農集)			16,551千円	16,067千円	20,525千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	農業用水の水質保全及び生活環境の向上のため、下早川田地区は平成11年、木戸地区は平成17年に供用開始。その後、農業振興課より維持管理の引継ぎを受ける。安定的な経営のため、供用促進と適切な施設の維持管理に努める。
令和3年度事業計画 (主要な事業とその取組内容)	
① 農業集落排水処理施設 (下早川田・木戸) の維持管理	
汚水処理施設運転維持管理包括業務委託 (農業集落排水施設) を実施	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業スケジュール		汚水処理施設運転維持管理包括業務委託 (農業集落排水施設) R2～6年度	汚水処理施設運転維持管理包括業務委託 (農業集落排水施設) R2～6年度	汚水処理施設運転維持管理包括業務委託 (農業集落排水施設) R2～6年度
事業費		20,525	20,525	20,525
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	9,395	9,395	9,395
	一般財源	11,130	11,130	11,130

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
活動指標	下早川田地区農業集落排水施設 放流水質BOD (≦基準値20mg/L)	2.6	目標値	18以下	18以下	18以下	18以下	18以下
		単位：mg/L	実績値	4.2				
活動指標	木戸地区農業集落排水施設 放流水質BOD (≦基準値20mg/L)	1.6	目標値	18以下	18以下	18以下	18以下	18以下
		単位：mg/L	実績値	1.3				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	20,525千円	令和3年度決算額	19,510千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	委託料 令和元年度 8,656千円 令和2年度 15,077千円 令和3年度 15,077千円 R3：汚水処理施設運転維持管理包括業務委託（農業集落排水施設）等			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	農業地域の住民の生活環境及び用水の保全には、継続して処理施設が必要である。施設の運転維持管理業務について、水質管理センター等と一体的に令和2年度から6年度までの5か年間の包括業務委託を実施している。					
課題	処理施設の運用から23年が経過しているため、ポンプ等の機械類のメンテナンス（交換）が、更新計画に基づいて必要である。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	・ 施設計画結果をもとに、老朽化対策に取り組む。 ・ 更新計画に従い、機器の更新を行う。 ・ 農業集落排水施設の運転維持管理業務について、引き続き包括業務委託を実施していく。					
令和5年度事業計画	①農業集落排水処理施設（下早川田・木戸）の維持管理 汚水処理施設運転維持管理包括業務委託（農業集落排水施設）					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	30	重要事業	総合戦略	担当部署	下水道課 工務係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)
下水道事業会計	処理場建設費 (公共・特定)			103,193千円	101,800千円
				当初予算額 (R3)	308,855千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	公共が昭和49年、特定が昭和44年に供用を開始し、経年により老朽化している処理場施設の整備費（建設及び改築更新費）に関する経費。近年は、平成25年度に「館林市水質管理センター長寿命化計画」、平成29年度に「館林市ストックマネジメント計画」を策定し、順次改築更新事業を進めている。
令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①水質管理センターの更新事業（中継ポンプ場含む） ・ストックマネジメント計画に基づく施設更新工事委託	
②近藤処理場の更新事業	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①水質管理センターの更新事業 ・水質管理センター自家発電設備等更新工事委託 ②近藤処理場の更新事業	①水質管理センターの更新事業 ②近藤処理場の更新事業	①水質管理センターの更新事業 ②近藤処理場の更新事業
	事業費	308,855	308,855	308,855
財源	国庫	152,800	152,800	152,800
	県費	0	0	0
	市債	138,300	138,300	138,300
	その他	17,755	17,755	17,755
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	308,855千円	令和3年度決算額	297,517千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	(公共) 主な事業 水質管理センター自家発電設備更新工事委託 (令和2年度～令和3年度) 水質管理センター受変電設備等詳細設計委託 (令和3年度) 水質管理センター自家発電設備燃料タンク更新工事委託 (令和3年度) 施設工事委託 (日本下水道事業団) 令和元年度: 216,800千円 令和2年度: 84,200千円 令和3年度: 283,690千円 (特定) 工事請負費 近藤処理場シアン攪拌機等更新工事 (令和3年度) 令和元年度: 一千円 令和2年度: 9,020千円 令和3年度: 0千円 (令和4年度への繰越: 2,178千円)			

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	水質管理センター等の改築更新工事は、施設のストックマネジメント計画を策定し計画的に実施することで、施設の適正な維持管を行うことができる。					
課題	処理場 (公共・特定) の老朽化が著しく、更新費用も今後更に増加すると見込まれるため、国の交付金や地方債を活用し、財源を確保する必要がある。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	・「館林市ストックマネジメント計画」に基づき、計画的に施設の更新、改築事業を進めていく。					
令和5年度事業計画	①水質管理センターの更新事業 (中継ポンプ場合含む) ストックマネジメント計画に基づく施設更新工事委託 ②近藤処理場の更新事業					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	31	重要事業	総合戦略	担当部署	下水道課 工務係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
下水道事業会計	管渠・処理場建設費 (農集)			4,697千円	4,499千円	5,478千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	農業用水の水質保全及び生活環境の向上のため、下早川田地区は平成11年、木戸地区は平成17年に供用開始。その後、農業振興課より維持管理の引継ぎを受ける。安定的な施設の維持管理のために施設の適切な更新工事を実施する。
令和3年度事業計画 (主要な事業とその取組内容)	
①管渠整備費 ・ 第1MP汚水ポンプ更新工事	
②処理場建設費 ・ 水中攪拌機等交換工事	

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①管渠整備費 ・ ポンプ更新工事 ②処理場建設費 ・ 機器交換工事		①管渠整備費 ・ ポンプ更新工事 ②処理場建設費 ・ 機器交換工事	①管渠整備費 ・ ポンプ更新工事 ②処理場建設費 ・ 機器交換工事
	事業費	5,478	5,478	5,478
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	5,478	5,478	5,478
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	5,478千円	令和3年度決算額	4,455千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	工事請負費 令和元年度 3,916千円 令和2年度 4,499千円 令和3年度 4,455千円 R3：第1中継ポンプ場汚水ポンプ更新工事 等			

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	農業地域の住民の生活環境及び用水の保全には、継続して処理施設が必要である。施設の更新について毎年計画的に実施することで、施設の適正な維持管理を行うことができる。					
課題	処理施設やマンホールポンプ等の機械類のメンテナンス（交換）が更新計画に基づいて必要である。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	・施設計画結果を基に、老朽化対策に取り組む。 ・更新計画に従い、機器の更新を行う。					
令和5年度事業計画	①管渠整備費 ポンプ更新工事 ②処理場建設費 機器交換工事					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	32	重要事業	総合戦略	担当部署	地球環境課 資源対策係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
4・3・1	ごみ収集処理事業		356,487千円	364,663千円	370,757千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 04_ごみを減らして資源を生かす循環型のまちになる
施策の方向	▶ 1_ごみを減らす(産まない)仕組みづくり

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	家庭ごみを安定的・効率的に収集し、できる限り資源化することにより、生活環境の保全を図り、持続可能な循環型社会を形成する。
----------------	--

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①ごみ収集処理事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ収集業務 ごみステーションに出されるごみ（燃やせるごみ、燃やせないごみ・資源物、プラスチック）や公民館等で回収される蛍光管を収集し、ごみ処理施設まで運搬する。 ・資源化等業務 ごみステーションで回収するガラスびん、缶、ペットボトルを資源化する。 ・施設保守管理業務 最終処分場の埋立地や浸出水処理施設の維持管理を行う。
-----------	--

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①ごみ収集処理事業 ・ごみ収集業務 ・資源化等業務 ・施設保守管理業務	①ごみ収集処理事業 ・ごみ収集業務 ・資源化等業務 ・施設保守管理業務 ・ごみステーション管理システム導入	①ごみ収集処理事業 ・ごみ収集業務 ・資源化等業務 ・施設保守管理業務
事業費		370,757	372,966	371,298
財源	国庫	336	336	336
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	10,066	12,275	10,607
	一般財源	360,355	360,355	360,355

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
総合計画 指標	【市民アンケート】ごみ処理・リサイクル (収集・処理、再利用など)の満足度	49.4	目標値	-	52.4	-	-	55.4
		単位：%	実績値	-				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	370,757千円	令和3年度決算額	366,669千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミ収集業務 (委託収集量) <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度: 可燃ごみ 14,907 t、資源物・不燃ごみ 2,960 t 令和2年度: 可燃ごみ 15,231 t、資源物・不燃ごみ 3,403 t 令和3年度: 可燃ごみ 14,670 t、資源物・不燃ごみ 3,151 t ・ 資源化等業務 (資源化率※) <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度: 74.0% (2,191 t) 令和2年度: 69.1% (2,350 t) 令和3年度: 67.1% (2,114 t) ※資源物・不燃ごみに占める紙類、びん、かん、ペットボトルの割合 ・ 施設保守管理業務 (最終処分場水質分析) <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度: 基準超過なし 令和2年度: 基準超過なし 令和3年度: 基準超過あり 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	廃棄物処理法上、一般廃棄物の総括的な処理責任は市町村にあるため、引き続き市民生活に直結したごみの収集処理事業を効率的・安定的に行っていく必要がある。					
課題	人口は減少しているが、集合住宅の増加に伴うゴミステーションの増加により、収集効率が低下しているため、設置基準の見直しや配置の適正化を進める必要がある。 また、たてばやしクリーンセンター建設工事に伴って発生した土砂が、最終処分場に仮置きされており、跡地利用を進めるために埋め立てる必要がある。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	新たな課題 (集積所、紙おむつ、違法業者) に対応するため、処理体制や業務内容の見直しを図り、安全で効率的な処理を推進する。 ・ ゴミ収集業務 ゴミステーションの配置適正化、業務見直しによる業務効率の向上を図る。 ・ 資源化等業務 異物の混入を抑制し業務効率の向上を図る。 ・ 施設保守管理業務 最終処分場の埋立を完了し、広場としての利活用、処分場廃止に向けて進めていく。					
令和5年度事業計画	① ゴミ収集処理事業 ・ ゴミ収集業務 ゴミステーションに出されるごみ (燃やせるごみ、燃やせないごみ・資源物、プラスチック) や公民館等で回収される蛍光管を収集し、ごみ処理施設まで運搬する。 ・ 資源化等業務 ゴミステーションで回収するガラスびん、缶、ペットボトルを資源化する。 ・ 施設保守管理業務 最終処分場の埋立地や浸出水処理施設の維持管理を行う。また、最終処分場の埋立を完了する。					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	33	重要事業	○	総合戦略		担当部署	地球環境課 資源対策係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
4・3・1	ごみ減量化事業			15,748千円	8,331千円	14,420千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 04_ごみを減らして資源を生かす循環型のまちになる
施策の方向	▶ 2_地域と行政が一体となった普及啓発

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	ごみの排出量が多いため、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の普及啓発により、ごみの減量化、分別の徹底、適正処分に対する意識醸成・行動変容を促進し、持続可能な循環型社会を形成する。
----------------	--

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①ごみ減量化事業【重要事業】

- ・ごみ減量化器具購入費助成金
生ごみ処理槽、生ごみ処理容器、生ごみ処理機の購入費を一部助成する。
- ・再生資源集団回収事業助成金
集団回収を行う団体の活動を支援する。
- ・廃棄物減量等推進員
地域での3Rの普及啓発を図るため、区長等に委嘱し、活動を支援する。
- ・廃棄物減量等推進審議会の運営
市民や事業者で構成される審議会で3R施策・計画を審議する。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール		①ごみ減量化事業【重】 ・ごみ減量化器具購入費助成金 ・再生資源集団回収事業助成金 ・廃棄物減量等推進員 ・廃棄物減量等推進審議会	①ごみ減量化事業【重】 ・ごみ減量化器具購入費助成金 ・再生資源集団回収事業助成金 ・廃棄物減量等推進員 ・廃棄物減量等推進審議会 ※ごみ処理基本計画策定	①ごみ減量化事業【重】 ・ごみ減量化器具購入費助成金 ・再生資源集団回収事業助成金 ・廃棄物減量等推進員 ・廃棄物減量等推進審議会
	事業費	14,420	19,711	14,420
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	7,066	7,066	7,066
	一般財源	7,354	12,645	7,354

【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
1人1日当たりのごみ排出量		944	目標値	795	756	748	740	732
		g/人・日	実績値	935				
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	14,420 千円	令和3年度決算額	7,512 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量化器具購入費助成金（基数：処理槽／処理容器／処理機） 令和元年度：12基／2基／5基 令和2年度：12基／2基／5基 令和3年度：13基／4基／5基 ・再生資源集団回収助成金（組合実績） 令和元年度：440件、1,146,401kg 令和2年度：322件、610,436kg 令和3年度：315件、555,374kg ・廃棄物減量等推進員会議 令和元年度：409名 令和2年度：新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 令和3年度：53名（新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部中止） ※令和2年度まで年一回大会開催 ・廃棄物減量等推進審議会 令和元年度：1回 令和2年度：1回 令和3年度：1回 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	ごみの減量化は、循環型社会の形成だけでなく、気候変動や財政にも寄与するものであり、不可欠な事業である。 1人1日当たりのごみ排出量は、目標達成できなかったが、現状値を下回る結果となっており、一定の成果が得られている。					
課題	ごみステーションの管理やごみの減量化の取組について、各行政区における廃棄物減量等推進員の活動の度合いが異なるため、活性化を図る必要がある。 また、減量化に加え、食品ロスやプラスチックごみの削減が国際的な課題となっていることから、国の方針や県の取組と整合を図りながら、より一層の取組を推進していく必要がある。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	リサイクル中心の取組から2R（リデュース、リユース）への転換を図るため、各地域のリーダーである廃棄物減量等推進員や集団回収実施団体の活動の活性化を図る。 ・ごみ減量化器具購入費助成金 購入者の意見や感想などを活用した普及啓発を行う。 ・再生資源集団回収事業助成金 集団回収の仕組みを活用した2Rの取組・普及啓発を行う。 ・廃棄物減量等推進員 推進員会議における研修や事例発表など、活動支援の内容を充実させる。					
令和5年度事業計画	①ごみ減量化事業【重要事業】 ・ごみ減量化器具購入費助成金 生ごみ処理槽、生ごみ処理容器、生ごみ処理機の購入費を一部助成する。 ・再生資源集団回収事業助成金 集団回収を行う団体の活動を支援する。 ・廃棄物減量等推進員 地域での3Rの普及啓発を図るため、区長等に委嘱し、活動を支援する。 ・廃棄物減量等推進審議会の運営 市民や事業者で構成される審議会で3R施策・計画を審議する。					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	34	重要事業		総合戦略		担当部署	地球環境課 資源対策係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)	
4・3・1	館林衛生施設組合負担金			751,029千円	748,934千円	837,450千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 04_ごみを減らして資源を生かす循環型のまちになる
施策の方向	▶ 3_効率的なごみ処理施設の運営

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	広域ごみ処理施設の安定的・効率的な運営、リサイクルの推進により、ダイオキシン、二酸化炭素、最終処分などの環境負荷の低減を図る。
----------------	---

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①広域ごみ処理施設の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・長期包括運営委託 令和元年度～令和15年度（15年間） たてばやしクリーンセンター いたくらしサイクルセンター めいわエコパーク たてばやしストックヤード
②施設整備の地方債の償還	<ul style="list-style-type: none"> ・長期債償還 平成26年度～令和14年度（19年間） たてばやしクリーンセンター いたくらしサイクルセンター めいわエコパーク

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業 スケジュール	①広域ごみ処理施設の運営 ・長期包括運営委託		①広域ごみ処理施設の運営 ・長期包括運営委託	①広域ごみ処理施設の運営 ・長期包括運営委託
	②施設整備の地方債の償還 ・長期債償還		②施設整備の地方債の償還 ・長期債償還	②施設整備の地方債の償還 ・長期債償還
事業費		837,450	837,450	837,450
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	837,450	837,450	837,450

【関連する指標】

総合計画 指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
	リサイクル率	20.8	目標値	31.8	33.2	34.2	35.1	36.1
		単位：%	実績値	18.9				
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	837,450千円	令和3年度決算額	841,801千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・ごみ処理分（本市からの搬入量） 令和元年度：23,136 t（1市2町の80.5%） 令和2年度：23,482 t（1市2町の79.8%） 令和3年度：22,933 t（1市2町の79.3%） ・ごみ処理施設建設分 平成29年度 たてばやしクリーンセンターの稼働開始（完成は平成28年度） いたくらリサイクルセンターの稼働開始（完成は平成28年度） めいわエコパークの完成・埋立開始			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	一般廃棄物処理広域化実施計画及び循環型社会形成推進地域計画に基づく事業であり、今後も組合によるごみ処理施設の運営は不可欠な事業であるが、外部処理を含む施設運営について、改善を要する点がある。
課題	本市、板倉町、明和町のごみ処理を行う館林衛生施設組合は、施設運営を長期包括委託により実施しており、民間のノウハウを活用した効率的な運営に努めているが、住民対応やコスト意識に対する取組など、負担金を支出する立場として運営状況を注視していく必要がある。
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）
	構成団体として、処理状況や施設運営の改善について、協働・連携して取り組む。 ・住民対応力の向上 ・ごみ処理手数料の滞納対策 ・処理施設としての3Rや適正処理の普及啓発 ・処理方法の調査研究
令和5年度事業計画	①広域ごみ処理施設の運営 ・長期包括運営委託 令和元年度～令和15年度（15年間） たてばやしクリーンセンター／いたくらリサイクルセンター／めいわエコパーク たてばやしストックヤード ②施設整備の地方債の償還 ・長期償還 平成26年度～令和14年度（19年間） たてばやしクリーンセンター／いたくらリサイクルセンター／めいわエコパーク
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和3年度事業】実施計画書

整理番号	35	重要事業	総合戦略	担当部署	地球環境課 環境政策係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R2)	決算額 (R2)	当初予算額 (R3)
4・3・2	館林衛生施設組合負担金 (し尿処理)		151,186 千円	146,689千円	123,214 千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ I_危機対応能力が高く良好な生活環境で暮らせる安全安心なまち
施策目的	▶ 03_人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる
施策の方向	▶ 5_公共下水道及びし尿処理施設の計画的な更新

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	1市3町（館林市・板倉町・明和町・千代田町）が共同でし尿処理を行うことにより、東毛地区におけるし尿処理施設の合理化を図るもの。
----------------	---

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

・運営費（し尿及び浄化槽汚泥の処理）負担金

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業スケジュール	運営費（し尿及び浄化槽汚泥の処理）負担金支出		運営費（し尿及び浄化槽汚泥の処理）負担金支出	運営費（し尿及び浄化槽汚泥の処理）負担金支出
事業費		123,214	123,214	123,214
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	123,214	123,214	123,214

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和3年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和3年度予算額	123,214 千円	令和3年度決算額	120,740 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	館林衛生施設組合負担金（し尿分） 令和元年度 151,139千円 令和2年度 146,689千円 令和3年度 120,740千円			

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	し尿及び浄化槽の汚泥について、引き続き安定的に処理する必要がある。					
課題	施設（館林環境センター）を長寿命化するため、令和3年度～令和4年度の2か年で基幹的設備改良事業を行い、設備等を更新するために事業費が増加する。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	継続実施していく必要がある。					
令和5年度事業計画	運営費（し尿及び浄化槽汚泥の処理）負担金					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						